

第3節 特別法犯少年

1 法令別

【県警少年女性安全課】

平成28年中の検挙・補導状況をみると、合計13人で、平成25年以降減少している。

第36表 福井県の法令別特別法犯少年の検挙・補導状況

(単位：人)

年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
軽犯罪法	5	24	14	5	1
迷惑防止条例	1	3	3	3	1
風営適正化法		1			1
青少年愛護条例		1	1	1	
銃刀法	1	1	3		2
毒劇物法					
児童福祉法				1	1
その他	3	4	6	5	7
合計	10	34	27	15	13

注：本資料でいう特別法犯少年は、特別法犯の罪を犯した犯罪少年及び触法少年をいう。

注：平成28年のその他7人は、児童買春・児童ポルノ法2人、不正アクセス禁止法2人、廃棄物処理法2人、大麻取締法1人である。

資料出所：県警少年女性安全課

2 学職別

平成28年中の学職別構成をみると、有職少年が6人と全体の46.2%を占めている。

第37表 福井県の学職別特別法犯少年の検挙・補導状況

(単位：人)

年		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
学生・生徒	小学生	2	2	2	1	1
	構成比	20%	5.9%	7.4%	6.7%	7.7%
	中学生	3	11	10	3	2
	構成比	30%	32.4%	37.0%	20.0%	15.4%
	高校生	1	4	10	6	2
構成比	10%	11.8%	37.0%	40.0%	15.4%	
他学生	他学生	1	1	1	2	1
	構成比	10%	2.9%	3.7%	13.3%	7.7%
有職少年	有職少年	2	12	2	3	6
	構成比	20%	35.3%	7.4%	20.0%	46.2%
無職少年	無職少年	1	4	2	0	1
	構成比	10%	11.8%	7.4%	0.0%	7.7%
総数		10	34	27	15	13

資料出所：県警少年女性安全課